

令和元年度第1回自立支援協議会相談支援部会 議事要旨

1. 開催日時 令和元年6月4日(火) 午後1時30分～2時
2. 開催場所 市役所4階S2・S3会議室
3. 出席者(委員) *団体名のみ記載
(福)パーソナル・アシスタンスとも、(福)サンワーク、いちょうの会、浦安市視覚障害者の会トパーズクラブ、浦安市身体障害者福祉会、浦安手をつなぐ親の会、(福)敬心福祉会、(特非)千楽、(特非)発達わんぱく会、(特非)かぷあ、(合)カーサ・デ・ビアンカリリー、(福)佑啓会、(福)浦安市社会福祉協議会、介護給付費等の支給に関する審査会、新浦安駅前地域包括支援センター、中核地域生活支援センターがじゅまる、猫実地域包括支援センター、社会福祉課(事務局)福祉部次長、障がい事業課、障がい福祉課
4. 議事次第
 1. 開会
委員の自己紹介
 2. 議題
 - (1) 令和元年度相談支援部会の運営と議題について
 - (a) 令和元年度・2年度の自立支援協議会の組織と運用について
 - (b) 平成30年度の相談支援部会のふりかえり
 3. 閉会
 4. 配布資料
議題(1)資料1 令和元年度・2年度浦安市自立支援協議会の組織と運用
議題(1)-(b)資料1 相談支援部会のショートゴール
5. 議事概要
議事に先立ち、自己紹介を行った。
 - ・(福)パーソナルアシスタンス・とも(リーダー)：基幹相談支援センターは、個別の直接的な相談対応のほか、研修や会議の企画など地域の相談体制の強化を担っている。部会では、基幹から見えている地域課題、現場のみなさんから見えている地域課題、地域相談員が感じることをすり合わせながら、自立支援協議会に発信していきたい。
 - ・(福)サンワーク(サブリーダー)：ソーシャルサポートセンターは、精神障がい者に特化して、地域活動支援センター、相談支援、地域移行、訪問看護の4事業を行っている。市内には精神障がいの受け皿が他にないので、部会では精神の方が市内で地域生活を送るための術をお伝えしていけたらと思う。
 - ・いちょうの会：会長から引き継いで、今年から部会に参加した。精神障がい者の親の会として活動している。会員は増えないのに、精神障がいの手帳所持者は多いのを見ると、

みなさんどうしているのかと思う。なかなか外に対して発することができないので、例会は日ごろ言えないことを言う場として機能していると思う。みなさん勉強しているので、過去には講演会などを開いたこともあるが、知っている人が多く、なかなかそれ以上発展しない状態。

- ・浦安市身体障害者福祉会：別の会員からの引き継ぎで今年から部会に参加した。親睦を目的とした会だが、会員は高齢化していて、新規入会者はなく、役員のなり手がいない。会員は50人程度。相談も生活相談が年に1、2回あるくらい。障がいのものは、介護に移っているので、デイサービスでさまざまなサービスが受けられている状態になっている。部会では自分なりの見識を高めたい。
- ・浦安手をつなぐ親の会：一昨年、会に入り、今年から部会に参加。会は高齢化が進んでいるが、現在会員67人で、先日第38回の定期総会を行った。今年は、会員の新規募集と障がい者の就労の場を確保を重点目標としている。個人的には、特例子会社で障がい者雇用と人材開発を担当しており、社内にはさまざまな障がいの方が200人程いる。
- ・(福)敬心福祉会：法人は就労継続支援B型、生活介護、指定特定相談支援の3事業を実施。自分は相談を行っている。部会は今回で3期目になる。前回も同じことを考えた気がするが、課題解決はなかなか難しい。一つでも具体的に課題が解決されたり、有意義な時間が過ごせればと思う。
- ・(特非)千楽：法人は相談支援、生活介護、就労継続支援B型、自立訓練(生活訓練)、放課後等デイサービス、日中一時支援の6事業を実施。自分は相談を行っている。自分は初めての部会参加。いろいろと勉強したい。
- ・(特非)発達わんぱく会：法人は児童発達支援と相談支援の2事業を実施。児童発達支援は1歳半から小学校就学前までの子どもの療育。自分はその手前の相談を行っているが、相談では気持ちの整理がつかない母親、福祉サービスを使ってもらうまでの母親の気持ちに寄り添うことを心掛けている。早期発見はできても早期受容は十分でないと感じる。部会での話し合いを実のあるものにし、法人、浦安市に展開していきたい。
- ・(特非)かぶあ：部会は今期で2期目。法人は放課後等デイサービス、生活介護、相談支援を行っている。今回の自分の課題として、利用者は重度の方が多いのだが、就労Bには行けないが働きたいという思いがあり、そういう狭間の人を少しでも支援できる環境を作っていけたらいいと思っている。
- ・(合)カーサ・デ・ピアンカリー：これまで二十数年、高齢者分野で働いた。障がいの方が年齢に達すると介護保険の制度が変わることになる。制度が変わることで混乱が起きることを少しでも減らしたい。障がいのサービスについても熟知して、制度が違うことでやれることやれないことなど、丁寧に説明していきたいと思っている。障がいの分野は初めてなので、いろいろ教えていただきたい。
- ・浦安市視覚障害者の会トパーズクラブ：目の不自由な方、見えづらい方の集まり。親睦が主な目的で、現在会員は30人くらい。みなさまの周りに視覚障がいがある理由で、引きこ

- もりがちになっているような方がいれば、トパーズクラブを頼るようお伝えください。
- ・(福)佑啓会：法人本部は市原市。自分は地域生活支援センターで障がい者就業・生活支援センター業務を行っている。こちらの圏域ではいちされんが担っているような部署。来年度、東野の複合福祉施設に入ることになっているので、いろいろと勉強していきたい。
 - ・社会福祉協議会：部会は今期で2期目。社協は幅広くやっているが、最近では8050問題とか複合的な課題を持っている人も多い。部会を通じて得られた気づきや発見から学んでいきたい。
 - ・介護給付費等の支給に関する審査会：部会は今期で5期目になる。審査会の最近の傾向として目立つのは8050問題。親が高齢になって、そのことで本人が不安定になり、問題行動を起こしたりする。また、高齢の障がい者で介護保険のサービスで足りない部分を障がい福祉サービスで使いたいという申請が増えている。審査会に関わることで見えてくるものをこちらで提案等できればと考えている。
 - ・新浦安駅前地域包括支援センター：介護保険の始まる前から特別養護老人ホームで働いていたため、高齢者関連の施設については詳しい。障がい者の施設を自分なりにしっかりとらえていくのが目標。今日の部会もさまざまな関連機関、施設が集まっている。この現場の中でも、ソーシャルワークのあり方みたいなものについてみんなで勉強したいと思っている。
 - ・中核地域生活支援センターがじゅまる：中核地域生活支援センターは千葉県独自の事業。市川・浦安ががじゅまるの担当。障がいの有無、年齢は関係ない総合相談事業と、地域資源のバックアップ、権利擁護事業をやっている。3年前からは包括的支援相談という、制度に乗らない方や外国籍、多問題ケース、犯罪を起こした人の支援をしている。市川でも8050問題は大きな課題。計画相談にお願いをする立場なので、障がいとか高齢、児童に関係なく、地域で安心して暮らしていける共生型社会について考えていきたい。
 - ・猫実地域包括支援センター：今年度から、地域包括支援センターの後方支援にあたる基幹型の業務、高齢者の権利擁護、虐待対応、地域包括ケア会議等の業務を担当している。高齢者の増加に伴い支援が必要な方も増えているが、要介護というよりは要支援の認定を受ける方の増加率が高い。それに伴って、そのケアプランを立てるケアマネジャー、サービスを提供するヘルパー不足も深刻になっている。また、認知症はなくても家族に連絡を取りたくないという一人暮らしの人が入院するときの対応なども増えている。
 - ・社会福祉課：社会福祉課の総合相談支援室で生活困窮者自立支援法に基づく生活相談を行っている。ここはどこに相談したらよいかわからない人、いわゆる制度の狭間に落ちてしまっている人に寄り添いながら、適切な相談場所を一緒に探していくようなイメージ。今年4月設置されたばかりなので試行錯誤で進めている。社会福祉課の生活保護のワーカーには若い職員や福祉の経験のないものが多いので、この部会でいろいろと勉強したい。

(1) 令和元年度・令和2年度浦安市自立支援協議会について

■説明（事務局）

新しい任期が始まるにあたり、令和元年度・令和2年度浦安市自立支援協議会について、前期までとの運用の違いを中心に説明を行った。

また、昨年度の相談支援部会で設定した、部会が目指すショートゴールについて再度説明を行い、さまざまな事例をもとに、各機関の連携を考えていき、相談支援事業所マップを作成していくことを説明した。

■主な意見（リーダー：リ、サブリーダー：サ、委員：委、事務局：事）

特になし